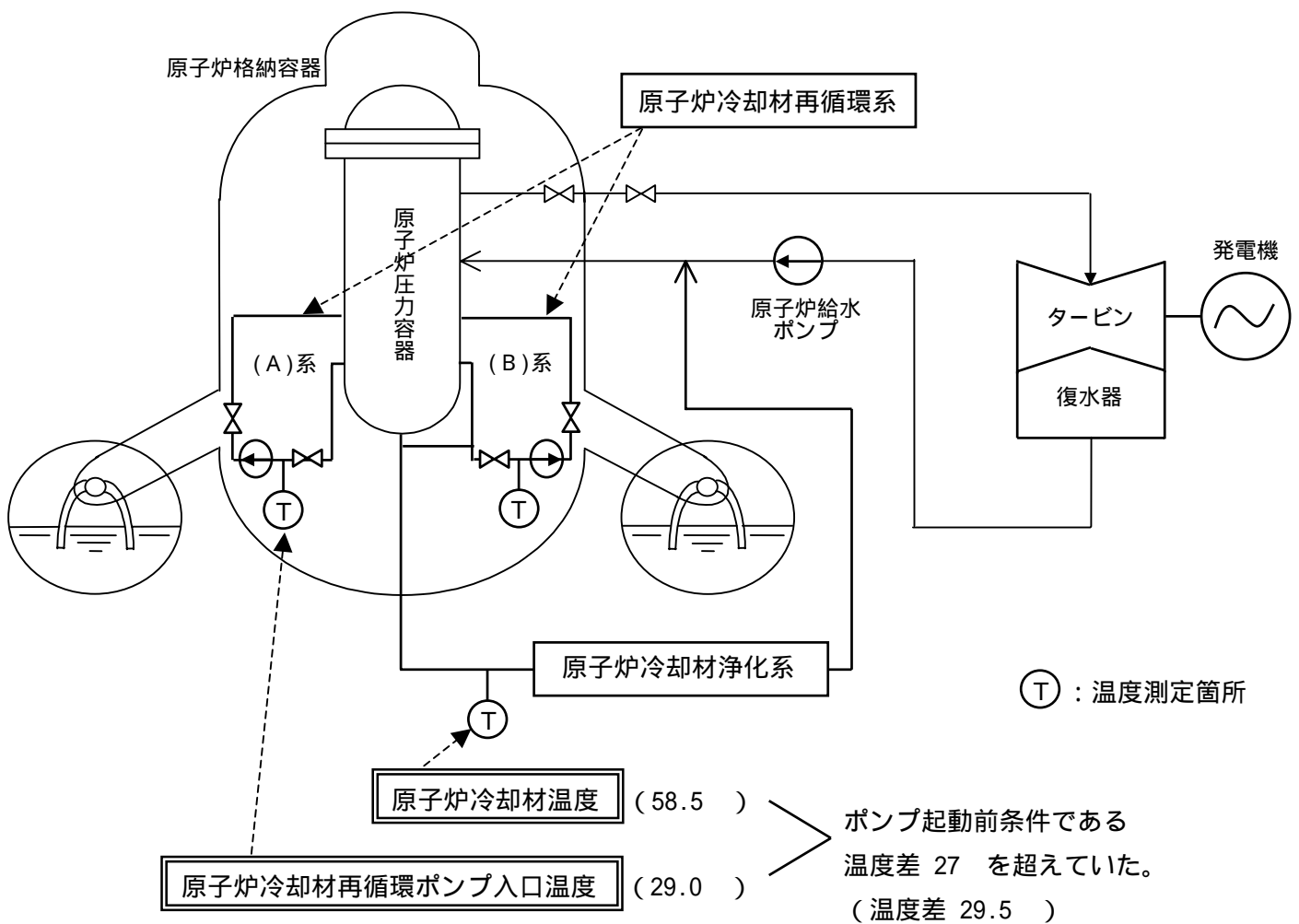


## 原子炉冷却材再循環ポンプ起動時の確認不足について

11月26日午前7時頃、原子炉冷却材再循環ポンプ（A）起動前の条件である「停止中の原子炉冷却材再循環ポンプ入口温度と原子炉冷却材温度の差が27以内」を超え、29.5で起動したことが分かりました。

原因は、原子炉冷却材再循環ポンプ起動前に、運転管理要領等に定める条件について運転員の確認が不十分であったことによるものであり、今後新たなポンプ起動前チェックシートを作成し、確実に確認するなど運転管理の充実を図ります。

この事象は、原子炉の安全性に問題はありません。また、外部への放射能の影響はありません。



温度測定箇所概要図